

平成30年度

大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻入学者選抜試験

## 【2年短縮型】

# 法律科目試験問題：刑法・刑事訴訟法

(配点：120点)

### 注意事項

- 1 机上に各自の「受験票」と「法科大学院全国統一適性試験受験票」を出しておくこと。
- 2 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 3 問題冊子は、全部で4ページである。  
解答用紙は、全部で8ページである。  
問題冊子、解答用紙に脱落のあった場合には申し出ること。
- 4 解答用紙は切り離さないこと。  
解答用紙は、8ページを超えて使用することはできない。
- 5 解答用紙の上部所定欄に、1ページには氏名、受験番号、試験の科目名を、2ページ以降は各ページに氏名を忘れずに記入すること。
- 6 解答は、第1問は1ページから、第2問は5ページから記入すること。
- 7 解答以外のことを書いたときは無効とすることがある。

第1問 (刑法)

Xは、ホームセンターで品物を見ているうちに、「現品限り」というチラシを添えて展示してある電動工具がどうしても欲しくなり、手にとって使いごちを確かめていたが、金銭の持ち合わせがなく、また、購入資金を調達している間に他人に売れてしまうかもしれないと不安に駆られる一方、周囲やレジに店員がいないのを見て、このまま工具を携えて店を出てもつかまることはないのではないかという気持ちが湧いてきた。そこで、Xは、工具を目立たないように脇に挟んでレジの横を通り過ぎ、ホームセンターの駐車場の方へ歩き出した。

ホームセンターの店員Aは、売場の棚を点検していたが、レジを通らず商品を持って店を出るXの姿を発見し、「ちょっと待ってください」と言いながら近づいた。しかし、制止の声にもかかわらず逃げ続けるXの様子を見て、Aは「待て、泥棒」と大声をあげ、本気になって追いかけはじめた。工具を持ち出したことがAに見つかったとわかり、慌てたXは、振り向きざまにAの胸を拳でついて尻餅をつかせ、さらに逃走した。

ホームセンターの駐車場には、Xを店まで自己の車に乗せて運転してきたYがいた。Xと共に帰ろうと車内で待っていたYは、店員から「泥棒」と言われながら追いかけるXを見て、Xの逃走を助けようと自車を発進させ、Xの近くに止めた。

XはYの車に乗り込もうとしたが、あとから追いついてきたAがこれを阻止しようとXの腰のあたりにしがみついて離そうとせず、車に乗り込んだXの下半身にぶら下がった状態となった。Yは、このまま車を運転するとAを引きずるかもしれないと認識しながら、車を発進させた。車が動き始めても、Aは「危ない」と言いつつ、なおもXに強くしがみついてくるので、Yは、さらに車の速度を時速10キロメートル程度に上げると共に、ジグザグに蛇行した。また、Xも足を上げてAの腰のあたりを思い切り蹴って、走る車からAを振り落とした。振り落とされたショックでAは駐車場のコンクリートの地面に強く頭を打ちつけて意識を失った。

Yは、流血して動かないAが死んでいるのではないかと心配になり、車を降りて様子を見るためAに近づいた。Aが活着ていることを確認するために、Yは、Aの胸のあたりを見て、そのポケットに高級筆記具が挿さっているのに目をとめた。Aに息が

(刑法・刑事訴訟法)

あることを確かめて安心すると同時に、筆記具が欲しくなったYは、咄嗟にこれを自分のポケットに入れ、何食わぬ顔で車に戻った。Xは、車内に居て、YとAのことを見ていなかった。

XおよびYの罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く）。

(配点：70点)

第2問 (刑事訴訟法)

司法警察員のAは、XがVに対しいわゆる還付金詐欺をおこなったとの被疑事実にもとづき、Xの自宅を捜索場所とする捜索差押令状を裁判官に請求し、その発付を受けた。そこで、Aは、その部下Bらとともに、X宅の捜索差押えを実施することにした。

Bは、Aから、X宅での捜索差押えの執行状況を写真に撮ることを指示されたので、Aらとともに同宅に赴き、同人らから2メートル程度離れて、その執行している様子を継続的に警察署のデジタルカメラで撮影した(写真撮影①)。

捜索開始から約30分後、Aは、Xの部屋の書類のなかに、Vに対する還付金詐欺とは無関係の、Xが覚せい剤の密売に関わっている事実を示すメモ3枚があるのを発見した。BはAに促されて、メモを持っているAに近づき、そのメモの記載内容が鮮明に写るよう、1枚ずつ丁寧に撮影した(写真撮影②)。その後、Aは上記メモをもとの場所に戻した。

なお、Bは、上記の写真撮影①②をおこなうにあたって、捜索差押えに立ち会っていたXの妻Yの承諾を得てはいない。また、執行後に作成された押収目録には、これらの写真撮影で得た画像データは記載されていない。

問1 写真撮影①は、「捜索」などの伝統的な証拠収集手続のうち、いずれの性質を有するものと一般に解されているか。当該証拠収集手続の定義を示しながら答えなさい。

問2 写真撮影①の適法性について論じなさい。

問3(1) 写真撮影②の適法性について論じなさい。

(2) 上記捜索差押え終了後まもなく、写真撮影②がおこなわれたことを知ったXは、写真撮影②は違法であり、警察署に保管されているその画像データは消去されるべきだと考えた。Xは、刑事訴訟法上の制度を利用して、裁判所にその旨申し立てることができるか。申し立てることができると考えられる理由と、

(刑法・刑事訴訟法)

できないと考えられる理由の双方をあげて検討しなさい。

(配点：50点)